

優れた医療機器の創出に係る産業振興拠点強化事業 事後評価結果

研究開発課題名	医療イノベーションを起こす！産業振興プログラム
研究開発代表機関	国立大学法人広島大学
研究開発代表者	日向 信之

【計画実施概要】

医療機器開発人材の養成に係る教育研修について、「ひろしま医療機器開発セミナー」、ワークショップ形式を取り入れた「ひろしまバイオデザインサロン」や更に深く医療機器開発法を習得するための「ひろしまバイオデザインフェロースhipコース」を組み合わせることで実践的な医療機器開発人材の養成を進めた。また、医療機器創出に資する支援体制としては、拠点のコアメンバーに医療機器開発の各プロセスにおいて精通した専門人材を活用することで適時必要な相談支援が提供できる体制を整備した。また、医療機器開発で重要視される「臨床現場観察」は、従来の臨床現場観察に加え、現場に行かずとも現場の雰囲気を確認したいニーズを踏まえ、VR 空間で観察ができる体制を構築した。その後の具体の開発支援につながるように広島臨床研究開発支援センターを中心に薬事・保険戦略等の出口戦略を含む相談体制整備や臨床研究中核病院機能を活かした伴走支援を提供した。上記の取組みに加えて、本年度より「医工学・バイオデザイン」研究室や霞分室の設置を進め拠点としての医工連携・医療機器開発体制の充実を図るとともに HP 等での情報発信を強化し、拠点の認知向上に努めた。

【評価コメント】

他拠点・地域との連携、多様な人材育成セミナー等をバランスよく実現している点が評価された。

以上